

てんとう虫



肥大化するウェブ空間と虚構の認識——仮想現実から拡張現実へ

放送大学北海道学習センター
所長 山田 義裕

今回は、電話メディアの誕生と進化およびそれが引き起こしたコミュニケーション様式の変容を踏まえながら、今私たちがスマホ片手に日々行っているオンライン・コミュニケーションの特徴についてご説明しました。今回は、オンライン・コミュニケーションの活発化がウェブ空間と現実空間との関係にどのような影響を与えているのかについて考えてみることにします。

私たちが現在利用しているウェブ（WWW）はもともとコンピュータ科学者のティム・バーナーズ・リーが1989年に考案したのですが、ウェブはこの16年後にWeb2.0という新たなコンセプトのもとで大きな変革を遂げます。Web2.0というのは、ティム・オライリーが集合知創出のために発案した新たなウェブコンセプトです。オライリーのアイデアがFacebookやTwitter等のSNSアプリケーションとして具体化することで、送り手と受け手が流動化する双方向のオンライン・コミュニケーションが可能となりました。このコミュニケーション環境の変化は、同じ趣味嗜好を持つ利用者がウェブ空間において協働で創作活動を行うといった試みに弾みをつけます。ウェブ空間におけるコミュニケーションや協働創作活動の活発化にともない、「参加型消費」という新たな消費形態が出現します。これは、コンテンツを消費すると同時にそれを部分的に改編・再生産して提供するような消費の形態です。コンテンツは著作権に縛られていますが、クリエイティブ・コモンズという著作権を柔軟化する新たな仕組みが考案され、これが参加型消費を後押しする大きな力になりました。ウェブ上に出現した参加型消費の趣味のコミュニティは、各種のサブカルチャー・コンテンツを生み出しながら2000年代半ばに「フリーカルチャー運動」が花開きます。

ここで一つ留意しておかねばならないのは、この運動は2000年代においては現実空間とは独立したウェブという閉域でのみで行われており、それが私たちのリアルな活動に直接影響することはほとんどなかったという点です。しかしウェブ空間における活発なコミュニケーションや創作活動は、その後あたかもその肥大化する空間が飽和状態になったかのように現実空間へと溢れ出します。例えば、2000年代後半からオタクたちの間で流行り始めた「アニメ聖地巡礼」と呼ばれるアニメなどのメディア・コンテンツに触発された観光行動に始まり、コスプレ大会やロックフェスのようなイベントにおいてもウェブ空間におけるコミュニケーションが現実空間の移動や交流に影響を及ぼす事例が耳目を引くようになります。文芸評論家の宇野常寛は、この社会現象の背景には、「仮想現実」から「拡張現実」へという虚構に対する認識の変化があるのだと主張します。2010年代に入ると、日本のサブカルチャーだけではなく世界各地の社会運動や政治活動においても、ウェブ空間におけるコミュニケーションや交流が現実空間での行動を誘発する拡張現実的な事象が次々と出現します。例えば、2010年のチュニジアでのジャスミン革命に端を発するアラブの春、翌2011年のオキュパイ・ウォールストリート、それに続く香港での雨傘運動や台湾のひまわり学生運動もソーシャルメディアによる交流が現実空間における社会運動と結びついた事例です。

社会の「拡張現実化」の潮流は、2020年に始まるCovid-19パンデミックの中で滞っていますが、ポスト・コロナ時代にはこの流れがどのような方向に向かうのでしょうか。来年の所長巻頭言では、それについて考えてみようと思います。

～「てんとう虫」の由来～

1990年、北海道学習センターが北海道大学構内の札幌農学校・旧昆虫学教室に開設されました。学習センターだよりの発行にあたり、建物が昆虫学の研究に使用されていたことにちなんで「てんとう虫」という名前が命名されました。



旧昆虫学教室

喪失感と旅

放送大学北海道学習センター
客員教員 西川 克之



さしたる理由もないのに無性に旅や旅行に出たくなることがある。たとえば JR の通勤電車が職場に最寄りの札幌駅にさしかかった時、ふと「このまま降りずに苫小牧まで行ってしまおうか」と心の声がささやいたりする。このような場合、はなから目的地が決まっているわけではない。それはたまたま乗った電車の行き先次第であり、特段苫小牧でなくても、千歳や岩見沢でも構わない。職場や仕事という日常から離れられさえすればよいのだ。

もちろん良識ある大人の私たちは、こうした誘惑の声を打ち消して、きちんと職場に赴き予定通りの仕事をこなす。小説や映画じゃあるまいし、無責任に職場放棄し気ままな一人旅、とはならない。しかしながら実は、観光研究の分析枠組みにしたがえば、こうした旅のあり方は、社会の近代化にともなって誕生した旅行の類型的パターンとして部分的には説明されうる。すなわち、旅行や観光が一般化、大衆化するうえでの前提条件のひとつとして、規則化・規律化された近代的労働の対極に自由な余暇時間が配置された、生活時間の定式的な構造化があげられる。労働と余暇の二項によって構成された時間編成という近代的生活の基盤をなすリズムを受け入れることによって、労働を中心とした日常生活で疲れた体と心を娯楽や観光などの余暇活動によって回復するという図式的な行動慣習が常識化している。

ただし、所定の職務を何ら事前の調整もなく放擲して気ままな旅に出るとするのは、こうした図式の秩序を乱してしまうところがある。なぜなら観光を楽しむための余暇の資格は、あくまでも規定されたとおりの時間を働いてはじめて認定されるものだからだ。働くべき時に働かず、ふいとどこかに行ってしまうのは単なる怠業に過ぎないと片付けられてしまうだろう。

一方で、人はなぜ旅行や観光に出かけるのかという動機の説明として、現代社会の日常生活における喪失感、疎外感をあげる研究者もいる。いわく、成果や効率を常に求める近代の原理が支配的になるにつれて、濃密な人間関係に根ざした共同体的な場（コミュニティ）を人は喪失してしまい、社会的に疎外された状況に追い込まれている。人が旅に出て求めるのは、そうした喪失の回復、疎外状況の埋め合わせだと言うのだ。失ってしまった「ほんとうの私」「ほんとうの社会関係」を「ここではないどこか」に求めて私たちは旅に出るのだとすれば、通勤電車で札幌駅を乗り越してどこか遠くの駅に降り立ってみることも、事情によっては正当化されるかも知れない。もっともそうした動機でなされる旅はまた、見果てぬ夢に終わる宿命にあることを私たちは承知しているはずなのだけれど。旅は続いていく。

客員教員による学習指導・学習相談

＜新型コロナウイルス感染症拡大防止のため状況により相談方法が変わります＞

◎対面・電話・web会議システム『Zoom』のいずれかにおいて、本センターの客員の先生方が学習の進め方、学習上で生じた種々の相談に応じます。

※「学習相談票」に希望の相談方法・必要事項を記入し、相談日の7日前までに事務室宛にお送りください。

「学習相談票」は北海道学習センターHPよりダウンロードが可能です。

◎ 令和5年1月から令和5年3月までの相談日程（予定）は、次のとおりです。

◎ 先生方のご都合により急遽日程が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

北海道学習センター

客員教員	専門分野	対面・電話・Zoomのいずれかによる学習相談の日程			時間					
		1/7(土)	2/4(土)	3/28(火)						
みんどう 遠藤 泰 先生	薬学	1/14(土)			13:00	～	15:00			
		1/15(日)								
		1/6(金)	2/3(金)	3/3(金)						
おおみや 大宮 学 先生	情報科学	1/13(金)	2/17(金)	3/24(金)	15:00	～	17:00			
		1/20(金)	2/24(金)							
		★①1/5(木)	2/4(土)	3/4(土)				★① 10:00	～	12:00
★②1/12(木)			★② 12:00	～	14:00					
★③1/19(木)						13:00	～			
さとう 佐藤 洋子 先生	小児看護学 母子看護学	1/5(木)	2/2(木)	3/2(木)	15:00	～	17:00			
		1/12(木)	2/9(木)	3/9(木)						
		1/27(金)	2/16(木)							
しんかわ 新川 貴紀 先生	臨床心理学	1/14(土)	2/17(金)	3/2(木)	14:00	～	16:00			
		1/28(土)								
ちゅう 張 博一 先生	国際法	★1/5(木)	2/26(日)	3/5(日)	★ 10:00	～	12:00			
		★1/19(木)						★ 12:30	～	14:30
		1/27(金)								
なかむら 中村 三春 先生	日本文学	★1/18(水)	2/15(水)	3/15(水)	★ 13:30	～	15:30			
		★1/25(水)	2/22(水)	3/22(水)				14:30	～	16:30
にしかわ 西川 克之 先生	観光研究	1/5(木)	2/2(木)	3/9(木)	15:00	～	17:00			
		1/19(木)	2/9(木)	3/16(木)						
		1/27(金)	2/17(金)							
はまだ 濱田 淳一 先生	腫瘍生物学	1/11(水)	2/1(水)	3/1(水)	10:00	～	12:00			
		1/18(水)	2/8(水)	3/8(水)						
		1/25(水)	2/15(水)							
よしの 吉野 巖 先生	心理学	1/6(金)	2/17(金)	3/10(金)	10:00	～	12:00			
		1/13(金)								
		1/20(金)								

旭川サテライトスペース

客員教員	専門分野	対面・電話・Zoomのいずれかによる学習相談の日程		時間	
いけがみ 池上 将永 先生	心理学	金曜日（基本的に第1週～第3週）		15:00	～ 17:00
いしづか 石塚 博規 先生	英語教育学	木曜日（基本的に第1週～第3週）		13:30	～ 15:30
しばき 芝木 邦也 先生	技術教育	水曜日（基本的に第1週～第3週）		9:30	～ 11:30

基礎ゼミ受講生の募集



2022年度第2学期の客員教員による基礎ゼミを開講します。
つきましては次のとおり受講生を募集しますので、ご応募ください。

対象者：本学学生（ただし、定員を超える場合は、全履修生を優先する。）

募集人数：各ゼミ10名（応募者多数の場合は抽選）

応募締切：1月11日（水）

応募方法：①学生番号・氏名、②希望するゼミ教員名（第3希望まで）、③メールアドレス（テキスト送付や開講中止となった場合等の連絡用）を学習センターに連絡してください。

TEL：(011) 736-6318, fax：(011) 736-6319

決定通知：受講が決定した方には、受講決定通知を送付します。

備考：締切後に空席のあるゼミについては、先着順にて受け付けますのでお問合せください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開講中止となる場合や、Web 会議システムでの開講方式に変更する場合（講義内容も一部変更）がありますので、あらかじめご了承ください。

開講区分：(1) 論理的思考法、(2) 研究実践法、(3) 論文作成法

*卒業研究の履修希望者は、上記の三カテゴリーをすべて受講した上で申請することを推奨します。

【実施場所：北海道学習センター（札幌）】

氏名	遠藤 泰	
テーマ (区分)	物質が「薬」になるまでを学ぶ (1)(2)	概要：植物、菌あるいは化学合成などから見つけれられた物質が、試験管中での実験や細胞、動物実験を経て、病気へ効果があり、安全性が高いと予測される「薬の候補」となります。「薬の候補」は健康な人や患者の協力によって、効果と安全性を調べられ得られた成績を国が審査して「薬」となります。具体例を示しながら論理的思考や研究実践法について学習します。
実施日時	3月12日(日)13:00~14:30 3月12日(日)14:40~16:10 3月19日(日)13:00~14:30 3月19日(日)14:40~16:10	
氏名	嶋崎 悌司	
テーマ (区分)	『化学のこころ』くらしの中で起こる現象を振り返る (1)	概要：札幌市内で、大量のスプレー缶を室内処理し、充満したガスによる爆発事故が起きました。すでに学んだ科学の知識と生活体験をもとに類推すれば、大事故は未然に防げたように思います。伊藤明夫「環境・くらし・いのちのための化学のこころ」を読み、くらしの中で日常的に起こる現象を振り返ってみたいと思います。参加を希望される方は、本書（裳華房）の第1部第1章「水一最も身近な環境」を読んでください。テキストは該当部分を配布しますので、購入の必要はありません。
実施日時	2月 4日(土)15:30~17:00 2月18日(土)15:30~17:00 3月 4日(土)15:30~17:00 3月11日(土)15:30~17:00	
氏名	新川 貴紀	
テーマ (区分)	心理学研究の探し方と読み方 (2)	概要：スマートフォンやパソコンを通してオンラインで読むことができる論文が増えてきましたので、そのような心理学に関する論文の探し方をご紹介します。またそれぞれの興味関心がある研究の論文を検討し、心理学の研究がどのように方法により実践されているのかを知ることを目的とします。
実施日時	2月 4日(土)13:00~14:30 2月18日(土)13:00~14:30 2月18日(土)14:40~16:10 3月 5日(日)10:30~12:00	
氏名	張 博一	
テーマ (区分)	国際問題を考える (1)(2)	概要：様々な国際問題の中から、「国際人権法と難民問題」「自由権規約と入管収容」「宇宙の商業利用」「パリ協定と気候変動」を取り上げて、これらの問題について、受講者の担当者がレジュメを作成して報告し（45分）、その後受講者全員で議論（45分）を行う。教科書は購入不要。該当部分を配布する。
実施日時	2月26日(日)10:30~12:00 3月 4日(土)10:30~12:00 3月 4日(土)13:00~14:30 3月 5日(日)10:30~12:00	
氏名	吉野 巖	
テーマ (区分)	心理学実験論文の読み方 (2)(3)	概要：心理学研究を行うには、関連する先行研究（実験論文）を読む必要があります。この基礎ゼミでは、実験論文（認知・教育・音楽心理学等から選定）を2本ほど読むことにより、実験論文の読み方を身につけることを目的とします。1日目は、教員が用意した論文を輪読し、実験内容や統計的分析の意味を解説します。2日目は、受講生の希望も踏まえて論文を選び、受講生には、論文の担当部分のレジュメを作成し内容を発表してもらいます。
実施日時	2月12日(日)13:00~14:30 2月12日(日)14:45~16:15 2月26日(日)13:00~14:30 2月26日(日)14:45~16:15	

基礎ゼミ 旭川サテライトスペース



【実施場所：旭川サテライトスペース（旭川）】

氏名	池上 将永	概要：このゼミでは、心理学のスタンダードな教科書である Atkinson & Hilgard's Introduction to Psychology を原著で読みます。この教科書は比較的平易な英語で書かれており、英和辞典を片手に読み進めていくことが出来ます。英語で心理学を学ぶことによって、心理学の専門用語を英語で理解できます。また、読んだ章を分かりやすい日本語でまとめることで、文章作成の基礎を身につけます。テキストはこちらで用意します。
テーマ (区分)	心理学の基礎を英語で学ぶ (1)(3)	
実施 日時	2月18日(土)14:00~15:30 3月 4日(土)14:00~15:30 3月11日(土)14:00~17:00	



公開講演会のお知らせ

旭川生涯学習フェア「まなびピアあさひかわ~2023」参加事業

講演題目：脳の仕組みと認知アセスメントで理解する発達障害の特徴



講師：客員教員・池上 将永 先生
(本務先：旭川医科大学准教授)



日時：2023年2月5日(日) 13:30 ~ 15:00

会場：旭川市神楽公民館

(旭川市神楽3条6丁目 神楽市民交流センター2階)

定員：30名(参加無料)

講演概要：発達障害とはどのようなものでしょうか。心理学の基礎的研究に基づき、発達障害の認知的な特徴を測るためのさまざまな検査(認知アセスメント)が開発されてきました。この講演では、認知アセスメントと脳の仕組みの両面から、発達障害の認知的な特徴について考えたいと思います。ADHD(注意欠如・多動症)を中心に話しします。

主催：放送大学北海道学習センター、後援：旭川市教育委員会

申込・問合せ：放送大学旭川サテライトスペース ☎ 0166-22-2627

備考：本講演は Zoom 配信します。

本講演は道民カレッジ連携講座です。

次学期の準備について

次学期の準備「継続入学・科目登録申請」のため、対象者には大学本部より各要項が届きます。出願及び申請の際には、各要項ならびに『学生生活の葉』を必ず参照し、お間違いのないよう手続きしてください。ご不明な点は、北海道学習センターまたは旭川サテライトスペースまでお問い合わせください。

継続入学

学生生活の葉：教養学部 (p.94～)・大学院 (p.90)

今学期末で学籍が切れる方へ、本部から1月上旬に「出願関係書類」が送付されます。ぜひ、引き続き放送大学を活用いただきますよう、ご検討よろしくお願いたします。

- ◆次学期に再試験のみを希望する場合は、「出願票他提出書類セット」にある出願票の科目登録欄の「今回の出願が、2023年度第1学期に通信指導の再提出資格または単位認定試験の再試験受験資格を得るためだけの出願ですか?」の「◆はい」の右欄に○印をつけてください。再履修科目がない場合は出願が無効になります。
- ◆継続入学される方で学期当初から、面接授業を登録希望の方は科目登録申請期間中にシステムWAKABAの「継続入学申請」からインターネット出願の上、科目登録を行う必要があります。
 ※ システムWAKABA→継続入学申請（現在登録されている情報の入力が省略できるため、簡易に出願ができます。郵送による出願では面接授業の当初登録はできません。）
- ◆選科・科目履修生が、初めて全科履修生として出願する場合は、システムWAKABAの「継続入学申請」からのインターネット出願、または同封されている「出願票他提出書類セット」内の「出願票(様式1)」で手続きしてください。
- ◆全科履修生の場合、2015年度以前のカリキュラムが適用されている方は、継続入学後は2016年以降のカリキュラムとなり、従来とは卒業要件が異なりますのでご注意ください。

出願方法	ネット	【システムWAKABA】より出願
	郵送	出願票に、必要事項を記載し郵送

出願締切	ネット	第1回 2月28日(火) 24:00まで 第2回 3月14日(火) 17:00まで ※全科履修生の証明書類等の提出も上記締切日まで必着
	郵送	第1回 2月28日(火) 本部必着 第2回 3月14日(火) 本部必着

<2023年度第1学期>

学生募集期間	面接授業の登録について(学期当初)	オンラインによる授業視聴について	印刷教材の送付について	学費納入期限
第1回/ 2022年11月26日(土)～ 2023年2月28日(火)	所定の条件を満たした場合に限り登録できます。(募集要項7ページD参照)	3月14日(火)までに学費を納入した場合に限り、4月5日(水)から受講できます。	3月14日(火)までに学費を納入した場合に限り、学期開始(4月1日(土))までに届きます。	4月3日(月)まで
第2回/ 2023年3月1日(水)～ 2023年3月14日(火)	登録できません。			

科目登録

学生生活の葉：教養学部 (p.58～)・大学院 (p.56～)

次学期も学籍が続く方へ、本部から1月中旬に「科目登録申請要項」が送付されます。要項記載事項をご確認の上、次学期に履修する科目を下記の期間中に本部へ申請してください。システムWAKABAで成績を確認のうえシステムWAKABAから登録申請を行うことを推奨します。

- ◆学部生は、次学期の面接授業の申請も同時に行ってください。
- ◆2022年度第2学期に登録した科目が単位を修得できなかった場合（通信指導未提出・単位認定試験不合格等）には、学籍が継続している場合に限り自動的に再登録されます。

※誤って「学生募集要項」に同封されている出願票他提出書類セットの出願票で申請してしまうと、無効になりますのでご注意ください。

申請方法	ネット	【システムWAKABA】の「科目登録申請」より申請	受付期間	ネット	2月13日(月)9:00 ～2月28日(火)24:00
	郵送	科目登録申請票に、必要事項を記載し郵送		郵送	2月13日(月) ～2月27日(月)本部必着

学期末で卒業見込みの方へ

学生生活の葉：教養学部 (p.94～)

学期末で卒業見込みの方には、本部より、「継続入学手続き等のご案内」が送付されます。これらをよくお読みの上、必要に応じて「継続入学」または「科目登録」手続きを行ってください。

- ◆**継続入学**：卒業後に再入学を希望する場合または今学期で学籍が切れるが卒業にならない場合に備えて行うものです。
- ◆**科目登録申請**：今学期に卒業とならない方で、次学期も学籍が続く場合は、科目登録を行ってください。（卒業となった場合は、科目登録申請は無効となります。）

証明書の発行について

【学生生活の葉】
教養学部 (P100～)
大学院 (P92)

証明書の交付を希望する場合は、下記の証明書発行に必要なものをご準備の上、北海道学習センター事務室に申請してください。（旭川サテライトスペースでは発行していません）
※郵送でも可能です。なお、証明書の種類によっては、発行までに2週間程度を要するものがあります。各提出機関等への提出日を考慮の上、余裕をもって申請してください。

申請日から2週間程度を要する証明書

- ・教員免許状申請用単位修得証明書
- ・各種国家試験関係の単位修得証明書
- ・大学院受験のための調査書

証明書発行手続きに必要なもの

窓口で請求する場合	◆諸証明書交付願（『学生生活の葉』巻末の様式） ◆発行手数料（1通：200円）
郵送で請求する場合	◆諸証明書交付願（『学生生活の葉』巻末の様式） ◆発行手数料（1通：200円の郵便定額小為替 ※記入不要です ） ※現金の場合は、必ず現金書留で送付してください。 （切手は無効です。受理せず返送します。） ◆返信用封筒（長形3号：120 [㍉] ×235 [㍉] ） ※84円（2通以上の場合は、94円）切手を貼付し、宛名を明記してください。

放送大学北海道学習センター 〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目北海道大学構内
☎011-736-6318

2022年度2学期 単位認定試験の実施について

2022年度第2学期の単位認定試験については、第1学期に引き続き、Web受験方式を基本とし、一部の科目*のみ郵送受験方式により実施します。試験の日程や実施方法等については以下のとおりです。

試験期間中好きな時間に好きな場所で好きな順番で受けられます。

1 試験日程

Web受験方式【試験期間】：2023年1月17日（火）9：00～1月25日（水）17：00
郵送受験方式【提出期間】：2023年1月17日（火）～1月25日（水）必着

2 実施方法

*郵送受験方式で実施する一部の科目を除きます。

- ・インターネットを通じて「Web単位認定試験システム」にアクセスし、受験します。
- ・試験期間中は自宅等から24時間いつでも受験できます。
- ・1科目50分の制限時間があります。（一時停止不可、1回のみ受験可能。）
- ・「択一式問題」は選択肢をクリックすることで解答します。
- ・「記述式問題」は解答記入欄に文字入力により解答します。
- ・受験開始ボタンを押すとカウントダウンが始まり、一度カウントダウンが始まった後は、受験画面を離れてもカウントダウンは進行します。

*提出ボタンを押さずに制限時間が経過した場合は、制限時間経過時点の解答が自動提出されます。

3 体験版の提供

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、2022年度第2学期の単位認定試験期間前（2023/1/16）までに、必ず「Web単位認定試験体験版」を操作し、事前に操作方法を確認してください。

重要!

1 ログインをクリック

2 ログインID（学生番号）およびパスワードを入力してください

3 Web 単位認定試験をクリック

4 問い合わせ先

放送大学 学務部学生課 単位認定試験係
Mail shugaku-ka@ouj.ac.jp
電話 043-276-5111(総合受付)



パスワードの変更はお済みですか？

1度も変更されていない方は、必ず変更してください。

2023年度第1学期の面接授業の登録申請について

〇スケジュール

〈継続入学の方〉 2022年度第2学期末で学籍が切れるため継続して入学する方

〈在学生の方〉



システム WAKABA より出願と科目登録が必要
2月13日(月) 9:00~2月28日(火) 24:00の期間

科目登録期間中にシステム WAKABA から出願

〇注意事項

〈学研災〉 傷害保険の加入を義務付けている科目は授業の前日までに手続きしてください

〈教科書指定〉 講義の際に使用しますので受講者は必ず用意してください。詳しくはシラバス参照

〈地方開催〉 近年、地方開催と気が付かないで間違えて登録する方が増えています。

シラバスの実施会場を必ず確認してください

2023年度第1学期の面接授業の紹介

映画で学ぶスペイン・中南米 2023年4月22日(土)・23日(日)



担当講師：石黒 侑介（北海道大学大学院
メディア・コミュニケーション研究院・准教授）
会場：北海道学習センター

スペインやラテンアメリカの文化、社会について、それぞれの国を舞台とした映画を通して理解を深め、スペイン語の基礎を学びます。映画は『スパニッシュ・アパートメント』『A Day Without a Mexican』を視聴する予定です。（事情により変更になる可能性も有り）

文法よりはコミュニケーションに着目し、スペインやラテンアメリカで使う「生きた」言語としてのスペイン語に触れることを重視します。



海の生き物と人の暮らし 2023年6月10日(土)・11日(日)

担当講師：工藤 秀明（北海道大学大学院水産科学研究院・教授）
バウア・ジョン・リチャード（北海道大学大学院水産科学研究院・准教授）
秋田 晋吾（北海道大学大学院水産科学研究院・助教）
会場：北海道大学水産学部（函館市港町3-1-1）

海洋生物資源をもとにした持続的発展や魅力ある社会の形成や人の暮らしの豊かさを増進させるために、水産物が内在する独特な性質や多様な可能性を認識し、深く理解することは現代人やこれから未来を築く人々にとって有益な情報となります。ここでは特に、有用な海藻のワカメ・コンブ類、川と海を行き来するサケ・マス類、高度な知能を持った軟体動物のイカ・タコ類に焦点を当て、それらが人の暮らしにどのように関わっているか、また、逆に人がそれらの生物にどのように関わることができるについて学びます。

有楽町で逢いましょう?? 「メタバースキャンパス活用法」その1

「有楽町で逢いましょう♪」と昭和の時代に低音を響かせたのは、ムード歌謡歌手のフランク永井でした。いま学習センターでは、秘かに「メタバースキャンパスで会いましょう」が流行しています。メタバースキャンパスは、学友会の方が構築しているバーチャルのキャンパスです。昨年入学したばかりのゆきんこさんは、仕事から帰っては放送授業に取り組む毎日でしたが、ほぼ寝落ちする状態が続いていたようです。他の人はどのように工夫して取り組んでいるのだろうと、不安を感じていた矢先に「メタバースキャンパス」のことを知りました。いつの頃からか、同キャンパスにログインし、いろいろな名称が付いている部屋から選んで「アバター」という自分の分身を置きながら勉強するようになりました。時には知らないアバターと出くわすこともあり、言葉を交わさないまでも、一人ではなく仲間・同志の存在を感じることでやる気・意欲が漲るようになったようです。そのうちに、チャットやマイクを使って話かけられたり、かけたりすることも増え、学びのヒントを得られるようになったとか。

メタバースキャンパスは、学習センターから遠い人も近い人も関係なく、誰もが出会えるキャンパスです。全国の学習センターの中でも、北海道が初めて作ったキャンパスですので、いろいろな活用法をぜひ探ってみてください。



メタバースキャンパス

学友会から「パスワード変更」等のご案内

最新情報：メタバースキャンパスに新部屋「ほぼ Under22」を開設しました。
ほぼ若者と思われる方の専用部屋です！どうぞご利用ください。



エッセイ大賞 2022 応募作品公開予定

エッセイ大賞 2022 について、まもなく学習センターホームページ等で応募作品を公開します。審査結果についても同時に公表予定とし、大賞作品はてんとう虫4月号に掲載します。

なお、昨年度同様に全作品を順次学習センター講義室前に展示する予定です。



アカデミック・カフェ（気軽に学べる講演会） ～ 道民カレッジ連携講座 ～

恒例のアカデミック・カフェを下記のとおり開催します。
講演はハイブリッド方式で行いますので、会場参加とZoom参加が可能です。

Zoom参加の方は、下記のミーティングIDとパスコードをお使いください。

今年度最終回となります。単位認定試験終了後のイベントですので、ぜひご参加ください。

日時：1月28日（土）13:15～14:30

講演題目：「楽器の上達とメタ認知」

講師：吉野 巖（北海道学習センター客員教員）

会場：北海道学習センター大講義室

（会場で聴講のほか Zoom 視聴可）

備考：コーヒーサービスがあります。



講師の吉野先生は音楽心理学などを専門とされチェロを弾かれています。残念ながら当日の演奏予定はありませんが興味のある方はぜひ先生にお声かけください。



参加人数把握のため、できる限り事前申込をお願いします。
左記QRコード、学習センターホームページ及び電話申込可

重要!

**連絡先は命綱！
住所・電話番号更新のお願い**

学生生活の栞87頁に掲載されているとおり、通信制の大学にとって「連絡先」は命綱です。

先日、こんな出来事がありました。面接授業の直前で講師の体調不良により休講することとなり、緊急連絡を行いました。電話番号が変わっている方がかなりいて大切な連絡をお伝えすることができませんでした。授業予定日の当日に学習センターに来て休講を知った方もいっしょに、今後このようなことがあると遠方から来られる方も無駄足となってしまいます。

休講連絡に限らず、大学本部からの郵便物や学習センターからの緊急連絡など、連絡先の更新を怠ることで不利益を被る場合がありますので、システムWAKABAで現在の登録情報をご確認の上、変更がある場合は速やかに必要な手続きを行っていただくようお願いします。



住所・電話番号の変更方法（どちらかを選択）

① システムWAKABAで変更する。

システムWAKABA → 教務情報 → 変更・移動手続 → 学生住所等変更 → 申請項目入力

② 「住所等変更届」を学習センターまたはサテライトスペースに提出する。



スケジュール



	視聴室利用
○	可
×	不可

1月				2月				3月			
日	曜	視聴室	事項	日	曜	視聴室	事項	日	曜	視聴室	事項
1	日	×	閉所日(元旦)	1	水	○		1	水	○	
2	月	×	閉所日(年末年始)	2	木	○		2	木	○	
3	火	×	閉所日(年末年始)	3	金	○		3	金	○	
4	水	○		4	土	○		4	土	○	
5	木	○		5	日	○		5	日	○	
6	金	○		6	月	×	閉所日	6	月	×	閉所日
7	土	○		7	火	○		7	火	○	
8	日	○		8	水	○		8	水	○	
9	月	×	閉所日(成人の日)	9	木	○		9	木	○	
10	火	○		10	金	○		10	金	○	
11	水	○		11	土	×	閉所日(建国記念日)	11	土	○	
12	木	○		12	日	○		12	日	○	
13	金	○		13	月	×	閉所日	13	月	×	閉所日
14	土	○	1月中旬 次学期科目登録申請要項 送付	14	火	○	第1学期科目登録申請受付 [郵送] 2/13~2/27 必着 [web] 2/13 (9時) ~2/28 (24時)	14	火	○	◆3/14 2023年度第1学期 第2回募集 出願締切
15	日	○		15	水	○			15	水	
16	月	×	閉所日	16	木	○		16	木	○	
17	火	×	単位認定試験	17	金	○		17	金	○	
18	水	×	単位認定試験	18	土	○		18	土	×	学位授与式(札幌・旭川)
19	木	×	単位認定試験	19	日	○		19	日	×	
20	金	×	単位認定試験	20	月	×	閉所日	20	月	×	閉所日
21	土	×	単位認定試験	21	火	○		21	火	×	閉所日(春分の日)
22	日	×	単位認定試験	22	水	○		22	水	×	
23	月	×	閉所日	23	木	×	閉所日(天皇誕生日)	23	木	×	■3/19~3/31 次学期準備のため 視聴学習室閉室
24	火	×	単位認定試験	24	金	○		24	金	×	
25	水	×	単位認定試験	25	土	○		25	土	×	
26	木	×	臨時閉所日	26	日	○		26	日	×	
27	金	○		27	月	×	閉所日(勤労感謝の日)	27	月	×	閉所日
28	土	○		28	火	○	◆2/28 2023年度第1学期 第1回募集 出願締切	28	火	×	
29	日	○						29	水	×	
30	月	×	閉所日					30	木	×	
31	火	○						31	金	×	

事務室の利用時間と閉所日

区分	曜日	北海道学習センター	旭川サテライトスペース
事務室開所日時	火~日	10:00~17:00 (視聴室は16:00まで)	10:00~17:00

新感染症対策のため閉所日・開所時間は変更になっております。
詳しくは北海道学習センター・旭川サテライトスペース ホームページでご確認ください。